

太平洋セメントグループ「カーボンニュートラル戦略 2050」 の技術開発ロードマップおよび 2030 中間目標を策定

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文 以下、当社）は、23 中期経営計画（以下、23 中計）で掲げた「カーボンニュートラル戦略 2050」の技術開発ロードマップおよび 2030 中間目標を盛り込んだ具体的方策を策定いたしました。この戦略に基づき、2050 年におけるサプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの実現に向けて総力戦で取り組むことにより、太平洋セメントグループのさらなる成長と社会の持続的発展を実現する圧倒的なリーディングカンパニーを目指してまいります。

当社グループは、気候変動問題への対応、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを重要な経営課題であると位置づけております。グループの持続的な成長には、動脈産業と静脈産業の役割を果たしつつカーボンニュートラルを実現することが必要不可欠です。また、世界のトップランナーとして、社会実装可能なカーボンニュートラル技術を早期に確立することは、重要な成長戦略のひとつと捉えております。

2021 年 5 月 13 日に公表した 23 中計において、「カーボンニュートラル戦略 2050」を掲げ、当社グループは、2050 年にサプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの実現を目指すことを公表しました。このたび、カーボンニュートラルに向けた技術開発ロードマップや 2030 中間目標など「カーボンニュートラル戦略 2050」の具体的な方策を策定いたしました。主な目標・施策は以下の通りです。

1. 2030 年に向けた取り組み

国内・海外グループ目標 (2000 年比)

・ 2030 中間目標*：サプライチェーン全体での CO₂ 排出原単位を 20%以上削減

* CO₂ 排出総量 (国内目標)：40%以上削減 (2000 年比)

- ① カーボンニュートラルに向けた技術開発・導入
 - ・ 既存技術 (省エネ、低 CO₂ エネルギー/セメント) の最大活用
 - ・ 革新技術開発 (CO₂ 回収・利用) の完成
- ② カーボンニュートラルに向けた投資 1,000 億円

2. 2050 年カーボンニュートラルに向けた取り組み

- ① 革新技術の順次展開
- ② サプライチェーン全体としてのカーボンニュートラルを実現

一方、当社グループでは、カーボンニュートラルの実現に必須となる革新技術の社会実装に向けて、解決すべき社会受容性や経済的負担のあり方、グリーンエネルギーの供給やインフラ整備といった課題に対しても、政府への働きかけ、他産業との連携などを通じて取り組んでまいります。

< 本件に関する問合せ先 >

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ
TEL. 03-5801-0334 FAX. 03-5801-0344
e-mail. ir-com@taiheiyo-cement.co.jp